

全国発信記事 ▲▽▲▽ 静岡支部

新造船・遠洋マグロはえ縄漁船 第58事代丸が出港

4月9日、焼津港から、焼津まぐろ漁業株式会社の新造船・第五十八事代丸がフリーマントル沖に向けて出港した

本船は水産庁の漁業構造改革総合対策事業「もうかる漁業」の支援を受け、三保造船所で建造された最新鋭の遠洋マグロはえ縄漁船。操業設備の特徴として、海鳥の混獲を回避するためのトリラインの放出・収納作業を自動化、また高圧放水で海鳥が餌に接近することを防ぐ装置も設置された。

マグロを凍結する前に、デッキで行うタグ付け作業は、多目的魚倉を設置することで、屋内で安全に作業できるよう改善を図った。

航海中も家族と無料で通信が可能

居住設備では高速ブロードバンド衛星通信システム(インマルサットF X)を搭載することで、航海中に各人がスマートフォンを使って家族や友人と、無料で連絡を取り合うことができるようにした。

静岡県立漁業高等学園を今春卒業し、本船に乗り組む山中康丈さんは「小学生の頃から漁師になりたいと願い、夢がかなった。初航海で初めてのことばかりですが、先輩船員の技術を少しでも早く身に付け一人前の漁師になりたい」と力強く抱負を語った。

本船の出港式には家族や関係者約250人が駆け付け、乗組員の航海安全と大漁を祈った。また、来賓を代表して焼津市の福與直己副市長から祝辞が述べられ、焼津港での水揚げに期待を示すとともに乗組員一同の健勝と無事の帰港を祈念した。

出港式の最後には、コロナ禍を踏まえペットボトルのお茶で乾杯し、多くの乗組員家族や関係者が紙テープで見送る中、ブリッジから佐々木健一郎漁労長が「本日お集まりの皆さまに感謝申し上げます。これからフリーマントル沖漁場に向け出港します」と謝意を示した。

「海員だより」